

卓話『財団のしくみについて』 地区補助金小委員会 宮澤弘樹会員

◆会長挨拶

二十四節季のひとつ「大雪」(たいせつ)を迎え、八ヶ岳をはじめ周囲の山々も雪化粧となりました。大雪は12月7日から冬至前日の20日までになりますが、日が暮れるのが早くなり、翌日明るくなるのが遅くなりました。「夜明け前が一番暗い」という言葉が身に染みて感じる季節になりました。皆様どうぞご自愛下さい。

ゲストを紹介致します。山崎ガバナー補佐の下、2月16日のIMを主管されます熊澤IM実行委員長、小野幹事はじめ実行委員会の皆さまです。後ほどIMのPRと各学会の顔合わせを行って頂く予定です。

本日の卓話は、2600地区ロータリー財団委員会地区補助金小委員会に出向されている宮澤弘樹会員から、財団の活動と寄付金についてお話を頂きます。

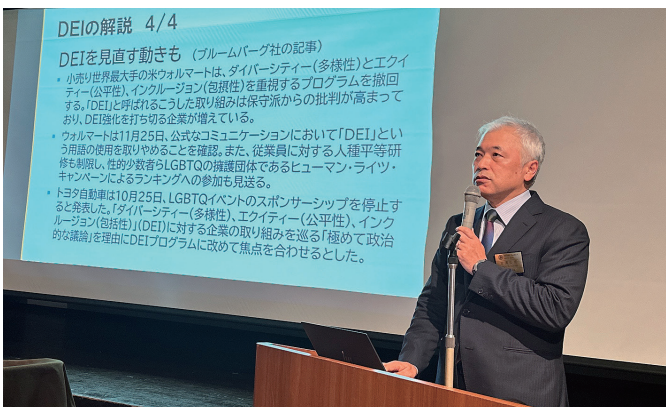
タイトな例会になるかと思しますので、会長挨拶をこれにて切り上げます。

◆幹事報告

- ・次回12月16日例会「半期のまとめ」半期委員会事業報告 ※欠席の場合 代理出席をお願いします
- ・後期会費納入 〆切 2025年1月15日

◆卓話

◆宮澤弘樹会員 担当：R財団委員会
【財団の仕組みについて】



〈ロータリー財団の指名〉ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること。

〈重点分野〉ロータリー財団の年次基金への寄付は、ロ

ータリークラブによる平和の促進、疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地元経済の発展、環境保護の取り組みの原動力となります。これらの分野は、ロータリーの「重点分野」と呼ばれている。

〈人道的補助金とプログラム〉ポリオプラス基金／ロータリー補助金／ロータリー平和フェローシップ

〈ポリオプラス基金〉ワクチン購入と子どもへの投与／ウイルスや感染者を認知するための定期的なサーベイランスの実施／予防接種に関する認識向上／疾病専門家へのサポート

ロータリーの目標は、年に5000万ドルをポリオ根絶活動のために集めること。

〈年次基金と恒久基金〉

年次基金：財団の補助金と活動の主な財源となります。年次基金への寄付は、シェアシステムを通じて、地元や海外での補助金と活動を支えます。

恒久基金：財団を恒久的に支えるものです。恒久基金への寄付は、未来のロータリアンが持続可能なプロジェクトを計画、実行していくために必要な財源となる。

〈ロータリー補助金の種類〉

地区補助金：地区財団活動資金(DDF)の半額が地区補助金の限度。地区補助金をどう活動に活用するかは、地区が決定します。地区とクラブは、この資金を使って地域社会や海外のニーズに取り組むことができる。

グローバル補助金：最低予算は30,000ドル。大規模で国際的な人道的プロジェクト、職業研修チーム、奨学金(大学院レベル)に活用でき、持続可能かつ測定可能な成果をもたらすことが求められる。

大規模プログラム補助金：2,000,000ドルを支給。大規模プログラム補助金は、証拠によって既に成果が実証された地域社会主導の取り組みに活用されます。競争制で授与され、重点分野の一つ以上に一致する長期的な活動を支える。

災害救援補助金：25,000ドルが限度。災害の被害を受けた地区は、地元の復興活動を支援するために災害救援補助金を申請できる。

【国際ロータリーとDEIについて】

多様性・公平さ・インクルージョンへのロータリーのコミットメント

「私たちは、ロータリーのあらゆる活動において、多様性・公平さ・インクルージョン(DEI)を受容し、行動で示すべきであると信じています。」

◎どのように行動するか：多様性、公平さ、開放性への取り組みをサポート

- ・クラブ行事で
- ・クラブと地区のリーダー職で
- ・新会員の勧誘時に
- ・若いリーダーのためのプログラムで
- ・クラブ柔軟性で

◎なぜDEIに取り組むのか

誰でも加入できるクラブ⇒イノベーションや価値の創出のため/持続可能なよりよい社会変革のため

◎DEIの解説

- ・ダイバーシティ=多様性≡差異 個人や集団の差異を認識して尊重すること
- ・インクルージョン=包摂性≡排除しないこと 異なる背景や視点を持つ全員が互いの価値を認め、貢献できる環境を作ること
- ・エクイティ=公平性 すべての人がそのニーズに応じた機会とリソースを得られるようにすること

◎LGBTQの解説 LGBTQは性的少数者(セクシュアルマイノリティ)を表す総称

LGBTQの人々は、社会的な偏見や差別に直面することが多く、精神的な健康や社会的な参加に影響を受けることがあります。これを改善するためには、①教育と啓発

②法的保護 ③支援ネットワークのような取り組みが重要。LGBTQの理解を深めることは、多様性を尊重し、すべての人が安心して生きられる社会を作るために重要

◎まとめと課題

- ・先行して取り組んでいる国、福祉・支援団体、教育関係者、企業は、障害物競走を1周して、再スタートをしようとしている状態 ・当事者やその家族はすでに何周もしている ・我々はスタートの合図を待っている状態・DEIに取り組まない選択肢はあるのか ・DEIの取り組みに正解はあるのか

◆IM PR



熊澤祥吉IM実行委員長/ 小野繁男IM幹事

概略説明 ちらし発表/プログラム(案)・組織図(配布)
※例会終了後 部会顔合わせ

【テーマ】 共に生きる・共に輝く・共生社会を考える
多様性 (Diversity) ・公平性(Equity) ・包括性(Inclusion)で次代へ繋ぐ

【プログラム】

- 令和7年 2月16日(日) 会場：ライフプラザ マリオ
- 登録受付 13:00
 - 本会議 13:30
 - 講演会 14:00
演題:アキットの魔法の話「マジシャンの見ている景色」
講師:橋本愛樹さん
 - 会員セミナー 15:20
演題:奉仕の理想と相互扶助の精神
ロータリアンと職業奉仕について考える
講師:本田博己氏 RI第2840(群馬)パストガバナー
 - 本会議 16:30
 - 懇親会 17:00~18:00
“魔法使いアキット”ロータリー特別マジックライブ

【IM実行委員会組織】

実行委員長:熊澤祥吉 副実行委員:高木文人
幹事:小野繁男

- ①運営部会 部長:藤森一俊 副部長:吉池雅志・共田武生
- ②広報部会 部長:内澤伸治 副部長:秦邦洋
- ③会場、親睦会、友愛部会 部長:今井孝寿 副部長:山田昌義・丸茂仁志
- ④企画総務部会 部長:宮澤弘樹 副部長:宮坂邦彦 河西明



運営部会



会場・親睦会・友愛部会



企画総務部会



広報部会



ラッキーナンバー・ニコニコBOX・出席報告

- ラッキー NO.48 宮坂好史会員
- ニコニコBOX 55,000円
- 出席報告
会員数 50名 出席 28名 欠席 22名
出席率 57.1% 前々回訂正 69.3%

今週のプログラム 12月16日(月) PM0:30
マリオ/クラブ協議会・半期のまとめ

次週のプログラム 12月23日(月) PM6:30
マリオ/クリスマス 家族夜間例会:親睦委員会